

■検討事項 1. 新たな民間保育施設の整備計画について

中央保育園の整備と存続を！

住み良さランキングで野々市市が脚光を浴びている？今日、若い層が増えています。特に0～2才児のこどもに目を向ける施策は絶対必要です。耐震建設、建て直し等で経費はかかりますが、ケチってはダメです。ゆりかごから墓場まで・・・

中央保育園の役割について

民営化は進化しているが、自治体の責任の重さはより一層増してきている。その要にあるのが公立園であり、社会全体で子どもを育てるために、公立園が役割の先頭に立つべきであろう。

今後私立(法人)のみでは対処出来ないこともでてくること多々。公立でカバーし、サポートし、バックアップする体制が不可欠。とりわけ未満児保育(乳児保育)の課題は大きい。(ex. 青竜幼稚園の抱える課題など)研修のリーダーシップも。これらを新しく創る(中央の歴史を踏まえた公立園)施設で担っていくことになるであろう。自治体がしっかりと責任をもって発信することを公立園がそれを実らせていくために力強い存在となるであろう。

なるべく市立保育園を減らさない方向でご検討いただけるとありがたいと思います。何かと工夫して財源の確保はできないのでしょうか。子どもを守ることは地域を守ることにつながります。これほど実のある先行投資は他に類を見ないようなと思います。

どうぞご検討くださいませ。

施設整備計画について、将来保育人口の推移と建物の老朽化を想定し、待機児童を出さない様取り組んで下さい。

中央保育園の老朽化や児童館も閉館する事となると、やはり早急に民間園の誘致が必要だと思います。その時は保育園や児童館、支援センターなどが一体となった施設が必要かと思います。

保護者の方々が安心して働きながらの子育てや満足のできる子育て環境の整備はとても大切だと思います。また、乳幼児期のお子さんが他の育ちの面からも劣悪な施設はよくないと思います。中央保育園については早急にすべきだと思います。

以前、なごみ子ども園の整備の時にも意見として出たと思いますが、今後子どもが減少していった時に、各園での取り合いになるのではないのでしょうか。市が運営する保育園を作ることは検討されないのですか。

待機児童を出さずに子育てにやさしい住みやすい街にするためには新たな民間保

育施設は必要だと思うが、今後の人口増加に推移や保育ニーズも気になる。

これからますます増大する保育需要に対応をしていくためには、民間活力は必要不可欠だと考えます。

保育士不足問題が現状として厳しいので野々市市で保育士として働きたいと思える処遇を考えてほしい。

特にございません。施設整備の推進をお願いします。

保育園や認定こども園が新たに増えてくれるのは賛成ですが、先生方が休みやすい環境も同時に作って欲しいです。

有休があっても、取りにくい現状です・・・。

賛成します。特に今後の人口増加が考えられる御経塚以北（長池）、蓮花寺～清金エリアへの誘致は市内全エリアでの保育サービスの充実に繋がると考えます。

特にございません。

子育て世帯が働くためには保育施設が必須です。

待機の子どもが出ないよう、受け皿を整えることは大切な施策と考えます。

昨今のコロナ禍において、子供たちを安心安全に育てられる環境づくり、また子供達だけでなく、それを支える親や地域の方々への協力を得やすいような施策を思案していけたらと思います。

■検討事項 2. 本町児童館の閉館について

本町児童館は利用状況等からみて閉館には賛成します。

でもこれまでに利用してきた人に上手に説明（代替にここがあって、これまで以上の設備があります等）して下さい。

また本町通のにぎわい通りに面しております。子供たちも気軽に出入りできる施設が良いよ！何が良いか急に言われても思い浮かびませんが・・・。

十分理解でき閉館することに賛成します。

ずい分と前に本町児童館に行きましたが、あまりよい印象は持てなかったです。閉館はやむを得ないと思いますが、その後の利用については広く子ども達も含め市民の声をきくべきだと思います。

子ども達が安心して遊ぶことのできる施設は必要だと思います。

最近オリンピックの影響か、駐車場や空き地でスケートボードをしている小中学校を見かけます。よくパトカーが来て注意されていますが、安全に遊ぶことができる施設、場所を作ってあげたりすることはできないのでしょうか。何もかも子どもたちから取り上げるのは逆効果だと思います。

本町児童館の利用者数が減少しているのであれば、閉館を考えてもよいと思うが小学生の放課後の居場所や未就園児の親子が自由に遊びに行ける場所が必要だと思う。

致し方無いのでは。

今回届いた検討事項にある利用者数の減少や不便性をみると致し方ない考える。老朽化でしかたないと思います。

本町児童館の利用者が小学生なのか親子の人数なのかにもよりますが、小学生だと1人で児童館へ遊びに行くとなると、中央児童館まで遠いのかな？と思ったり。親子で利用していた方達は、基本車で移動だと思うので、違う児童館へ行くのはまだ容易かと思います。

施設の老朽化、ニーズの変化で閉館はやむなしと考えます。

今後の方針として「中央児童館に集約」とありますが、児童館の機能を既存の施設（ex. カミーノ、公民館等）に入居させ利用しやすい環境が増えると良いのではと考えます。

私が野々市小児勤務している時、社会の授業で本町児童館に探検に行きました。閉館は残念だしさみしいですが、市全体の財源を考えるとしかたのない判断なのでしょう。

■その他ご意見

コロナ禍が明らかにした保育の課題

閉じられた空間内でおこるDVや虐待は、マスコミ等でも夙に語られているが、また、一方、保育士等に関するエッセンシャルワーカーということばも巷に溢れている。今回就労保障機能が大きく前面に出て、保育所のもつ子どもの成長・発達に係わる機能（子どもの権利）が後景に退いた感じがする。＜遊びや仲間をどう保障するかかの議論が乏しかった＞

保育所の機能が改めて論議されたのをきっかけに、やはり考えたいことは、（野々市市の配慮は十分承知）運用基準の見直しである。子供が少ない時の保育の場の落

ち着きは、これまでの日常の保育がいかに貧しいかに気づかされた。食べるところ、ねるところ、遊ぶところがきちんと分けられた保育ができるように“見直し”の契機となったと思われる。

社会的資源の投入に知恵を出すべきであることを今度のコロナは示してくれた。

以上、たくさんのご意見をいただきました。

皆様のご意見を受けまして以下のとおりいたします。

■新たな民間保育施設の整備計画について

市全体の定員数を底上げすることで、待機児童を出すことなく市立保育園がその役割を果たすための環境を整えるため、就学前子どもの人口や保育ニーズの推移などを注視しながら、新たな民間保育施設を誘致する方向で検討いたします。

■市立中央保育園の在り方について

現在、中央保育園が担っております0歳児から2歳児の保育サービスについては、今後も市の責任において安定的に提供する必要があることから、市立園として存続させる方向で検討します。

また、老朽化が著しい現在の園舎について、安全と保育環境の向上を図るために必要となる大規模改修や建て替えについても併せて検討いたします。

■本町児童館の閉館について

市民や利用者への周知を十分に行ったうえで、令和4年度中に閉館することといたします。

なお、閉館後は中央児童館に機能を集約することで、地域の未就学児親子や放課後における児童の居場所などを確保するとともに、子育て支援機能の更なる充実に向けて検討いたします。

また、跡地利用については、賑わい創出や子どもが気軽に利用できる施設など、旧北国街道を中心とした地域づくりを総合的に考えていく中で、検討していくことといたします。